

基本構想

1. 学校教育目標

【教育目標】

五中生らしく、自立し誠実に生きる生徒を育成する
～ 希望で登校、感謝で下校 ～

《つきたい力》・・・五中に脈々と引き継がれている着きたい力
受けとめる力 伝える力 かかわる力

2. 学校経営基本方針（令和元年度より）

（１）めざす学校像：【信頼の絆・学びの鍛錬・地域の風】

- ① 教師と生徒が信頼の絆で結ばれている学校（信頼の絆）
 - ・授業の充実：わかる授業、面白い授業、満足感や成就感のある授業。
 - ・苦楽をともにする：いつも一緒にいることで、心の通い合う関係になる。
 - ・背中で教育する：師弟同行、率先垂範、言行一致。
- ② 学力・気力・体力を鍛え伸ばす学校（学びの鍛錬）
 - ・探究型学習の推進：課題・表現・対話・振り返り、実感・感動・納得の重視。
 - ・生徒指導の三機能を生かした授業・学級経営。
 - ・気力・体力を支える：キャリア教育・自己実現をめざす教育・部活動。
- ③ 地域とともにある学校（地域の風）
 - ・学校の情報を積極的に提供する。教育活動への協力と参画。地域素材の授業化。
 - ・生きて働く知恵の獲得、社会性やコミュニケーション力等の育成。
 - ・地域を愛し地域を誇りに思い、地域のために貢献しようとする心の育成。

（２）めざす教師像【尊敬・信頼・慕われる教師】

- ① 面白い、よくわかる授業ができる教師
 - ・教材研究の充実、教材や生徒に対する深い理解、成就感・達成感、学問に対する姿勢。
- ② いつも一緒に苦楽をともにする教師
 - ・苦楽をともにし、一緒に笑い一緒に涙を流す。小さな異変にも気づく観察眼を持つ。
- ③ 背中で教育できる教師
 - ・言行一致の教師、学び続ける教師。自分の人格が磨き、磨かれる教師。

（３）めざす生徒像【豊かな心・確かな学力・健やかな体】

- ① 互いに認め合い、自他共によりよく生きる生徒（豊かな心）
 - ・豊かな情操とコミュニケーション力、支え合える仲間の存在、励まし合い高め合う集団。

- ② 主体的に学習し、創造的な学びを培う生徒（確かな学力）
 - ・ 学問に対する真摯な態度、幅広い知識と教養、学ぶ喜び、穏やかさと落ち着き。
- ③ 生命や生き方を尊重し、健康でたくましい生徒（健やかな体）
 - ・ 目標設定、将来に対する思いや願い、忍耐力、継続できる力、内に秘めた情熱。

3. 経営の重点

（１）「信頼」を育む教育活動の推進

- ① 公教育を担う自覚・責任感・使命感にあふれる教職員。
 - ・ 自己の姿勢の振り返り＝背中で教育、率先垂範、言行一致、師弟同行
 - ・ 指導者としての言葉／身だしなみ／時間行動／その他
- ② 常に研修と修養に努め、自己を高める教職員。
 - ・ 学び続ける教師、師表としての教師

（２）「確かな学力」を育む教育活動の推進

- ① 探究型学習の充実：全職員が取り組む日々の授業実践と授業研究会の充実。
 - ・ 「探究型の授業」＝「教科の本質に迫る深い学びが見える授業（実感・感動・納得）」
- ② 探究型学習を成立させる授業の場の工夫。
 - ・ 課題を自分のこととして捉え、主体的に取り組む生徒の姿が見える授業（課題）
 - ・ 精一杯考え一生懸命に表現する生徒の姿が見える授業（表現）
 - ・ 仲間と協働して課題解決に向かう生徒の姿が見える授業（対話）
 - ・ 学習の見通しを立てたり、振り返ったりする生徒の姿が見える授業（振り返り）
- ③ 特別の教科としての「道徳」の充実と展開（考え議論する道徳、補充・深化・統合）。

（３）安心・安全な教育活動の推進

- ① 学級経営の充実（居場所づくりと絆づくり）。
- ② 保護者や関係機関と連携を密にした教育相談の充実。
- ③ 一人一人を大切にした特別支援教育の充実。

（４）感動と絆を大事にした教育活動の推進

- ① 各行事・生徒会活動・部活動に全力で取り組む生徒の育成。
- ② 授業の充実と「道徳」を核にした心を育てる教育の充実。
- ③ 仲間を大切にし、ともに伸びようとする学年・学級経営の充実。

（５）学校や郷土に誇りを持つ教育活動の推進

- ① 美しい校舎を守っていくために黙々と清掃に取り組む生徒の育成。
- ② 地域の中で自然にあいさつができる生徒の育成。
- ③ 地域の行事に積極的に参加する生徒の育成。

（６）働き方改革の推進

- ・ 教材研究の時間確保と早めの退校。
- ・ カリキュラムマネジメントを意識した教育活動の展開。
- ・ ガイドラインを踏まえた部活動の推進。